区分	臨床・専門分野	授業科目名	薬理学	単位数	1
対象学年	2年生	開講時期	前期 ・ (後期) ・ 通年	講義形態	(講義)・実習
担当教員名	岡本 信惠	実務経験	(有)・無	実務経験内容	・愛媛県立衛生研究所疫学情報科勤務　腎移植センター兼務、感染症サーベイランス事業、腎移植、骨髄移植適合検査等に携わる。 ・対馬いづはら病院勤務、薬局にて調剤業務、検査室にてTDM等。 ・塩塚薬局　調剤、一般医薬品販売、健康相談

授業の目的・目標

①医療品とは何かを理解し、医療品の作用機序について概要を説明できるようにする。
②薬物の体内動態を理解し、薬物相互作用とその回避法について説明できるようにする。
③TDM、検査値に対する薬物の影響等、薬物と臨床検査の関係を理解する。

成績評価の方法

出席と試験の結果で評価する

授業の概要・授業方針

①～③が修得できるよう、教科書と資料を用いての講義と演習

テキスト・参考資料等

これならわかる！薬理学（丸山敬著）

授業計画	講師
1　薬理学の概要	岡本　信惠
2　薬物と法令	岡本　信惠
3　薬物の作用	岡本　信惠
4　薬物の効果に影響を及ぼす要因	岡本　信惠
5　薬物の投与経路	岡本　信惠
6　薬物の体内動態	岡本　信惠
7　薬物の相互作用	岡本　信惠
8　薬物と臨床検査	岡本　信惠
9　まとめ	岡本　信惠
10　演習と解説	岡本　信惠